

地域医療研修として2021年7月の一ヶ月間、そよかぜ診療所で研修させていただきました神戸大学医学部付属病院研修医の荒木直人です。そよかぜ診療所は朝来市山東町にあり、山の緑に囲まれた自然豊かな場所にあります。神戸市から車で約1時間半ほどのところにある朝来市は四方を山に囲まれ、田んぼや畑なども多くあり、神戸で生まれ育った僕は研修初日に目にしたその光景を新鮮に感じたことを覚えています。朝来市の田んぼはコウノトリ育む農法に取り組んでいるようで、運が良ければコウノトリを見ることもできるということでした。残念ながら僕はコウノトリをみることはできませんでしたが、一ヶ月の研修中毎日豊かな自然の風景に接した事は都会で生活していると中々味わえない貴重な経験でした。研修内容としては診療所内での外来見学、採血、エコー検査、X線撮影、創傷処理や処置等に加え、毎日訪問診療として地域の患者さんのお宅へ伺い診療所へ通うことができない方々の診察をさせていただきました。エコー検査や処置等は丁寧にご指導して頂きながら、大学病院では中々一人で行う機会を得られないことも多い手技を経験させてもらい、1ヶ月間で大変多くのことを学ばせて頂きました。また、訪問診療では当然ですが大学病院では接する機会の少ないプライマリケアを要する患者さん達に多く接し、その方の家族構成や人間関係、居住空間や生活様式まで様々な要素を考慮しながら診療を進めていくこの分野の奥深さの一端に触れることができたと思います。大学病院での入院患者に対する医療とは全く異なり、できる検査の種類や回数も限られ身一つで向き合う患者さんの状態の把握に努めなければならないシビアさや、本人の意思や家族の意向に合わせて敢えて検査や治療を行わない対応の柔軟さはやはりこの地に来て実際に触れることでしか感じる事が出来なかっただろうと思います。在宅で高齢者の多い患者さん達とは言っても梅雨明け7月の猛暑の中当たり前のように田んぼや畑で作業をしたり、ご家庭の菜園等を手入れする患者さんやそのご家族の力強さには感服するばかりで、そういう点でも自分の中の地域医療というものに対する印象は実際に目の当たりにしてガラリと変わり、地域と共にある全人医療を通して学べたことを少しでもこれからの自分の働き方に活かしていかなければと気が引き締まる思いでした。

最後に秀樹先生、静子先生、黒瀬先生、診療所に携わる全てのスタッフの皆様には、一ヶ月間丁寧なご指導と様々なご配慮を賜り、この場を借りて感謝の言葉を送らせて頂きたいと思っております。一ヶ月間本当に有難うございました。また機会がありましたら是非ともよろしくお願いたします。